

私たちの活動や意見を仲間  
で共有します。  
会費は県と日本平和委員会  
の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2023年4月15日 第374号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiwaweb.fc2.com/

## 強化される自衛官募集体制

# 自治体の「名簿」提出が急増

## 自衛隊員の定数割れが続く中、募集対象年齢の引き上げと高校生への勧誘強化

自衛隊が自衛官募集の最大のターゲットにしているのが卒業を控える高校3年生といわれています。自衛隊は住民基本台帳を管理する市区町村から該当する住民の個人情報(年齢・性別・住所・氏名)を入手しています。32歳までの個人情報を入手する場合もあるといわれています。

この個人情報を、閲覧ではなく紙・電子媒体で自衛隊に提出する市区町村は全国の55%にのぼることがわかりました。(平和新聞2316号より)

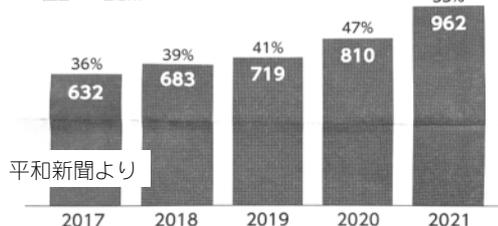
### 2017年時点、土浦市は“閲覧”のみ 新たな調査が必要

この件について、土浦平和の会と土浦市との懇談では、「自衛隊関係

から依頼があっても、対象者名簿の作成および交付はしないで下さい」との要望に対して、土浦市は「本市では、個人情報保護を優先し(自衛隊から)要望があっても「閲覧はできますから必要ならどうぞ」という対応で、名簿提出は行っていない」とされていました。(2019年)

全国の状況を受け、再調査や抗議の取り組みが求められています。

■自衛官募集のため名簿などの提供に応じる自治体数の推移  
(全国1741自治体)



2019年当時の全県調査によれば、県内44自治体の対応は、①紙媒体での提供19市町村、②抽出閲覧12市町村、③全閲覧13市町村となっており、土浦市は③全閲覧に分類されていました。

### ご案内

## 茨城県平和委員会 30周年記念式典

茨城県平和委員会は1991年に再再建し、昨年30周年を迎えました。新型コロナウイルスの影響によって記念式典が開催出来ずにいました。この度、「30周年記念誌」発行に至りましたので、「茨城県平和委員会30周年記念式典」へのご案内を申し上げます。ご出席またはメッセージを寄せていただければ幸いです。

日時：5月13日(土) 13時から15時

※12時30分開場

会場：みまつホテル

水戸市宮町2丁目4-26 TEL029-224-3005

会費 一人4千円

茨城県平和委員会代表理事

飯田美弥子、近藤輝男、木村 泉

※ご参加希望の方は近藤までご連絡ください。

### 好評

## 別刷り 平和かわら版 (平和新聞茨城版)

### 学習企画 「軍事国家への道を許さない」

「平和かわら版」の別刷りによる学習企画の新連載が始まっています。会員の皆様には従来の配布ルートで同時配送しています。

鎌倉時代の元寇までさかのぼった連載は、幕末、第2次大戦と進み、一気に「敵基地攻撃とは何か」を解き明かしています。連載はまだ続きます。

## 勝手に決めるな「軍拡」「増税」!

武力で平和は作れない

# 5・3 憲法フェスティバル

日時：5月3日(水/憲法記念日)

10:30開場/15:30閉会

会場：水戸市千波公園 はなみずき広場

○参加費無料 ○雨天決行/荒天中止

《テント交流企画》10:30~12:00

9条の会交流会/国民救援会/原発NO  
沖縄・平和パネル展/核兵器廃絶 など

《ステージ》12:00~

水戸工業高校ジャズバンド

水戸藩YOSAKOI連

ヒューマンファーマーズ

特別企画 13:00~

「戦争する国」づくりと憲法

~私たちにできること~

いとう まこと

伊藤 真 弁護士

伊藤塾塾長/日弁連憲法問題  
対策本部副本部長



# 報復受けても自衛隊だけ残る

きょうじん

## 安保3文書にもとづく「各施設の強靱化」全国283地区で わが町土浦も、複数施設が対象に

**陸自／土浦駐屯地**（武器学校・武器教導隊、阿見町）

**霞ヶ浦駐屯地**（土浦市右廻り）

**朝日分屯地**（関東補給処朝日燃料支処、阿見町）

**機関／航空装備研究所土浦支所**（阿見町）



陸自土浦駐屯地内

### 1万2636棟を立て替え、5102棟を改修、「国土戦場化」想定の基地強化に着手

自衛隊基地、防衛省施設を核兵器、化学兵器、生物兵器、爆発物による攻撃に対応できるよう、全国283地区で施設の地下化や強靱化を図る・・・

しんぶん赤旗と日本共産党の国会質問で、こんな禍々しい防衛省の計画が明らかになりました。計画には私たちが暮らす間近の施設も4カ所が含まれています（土浦市と阿見町）。

この計画は先々の話ではなく、一部すでに進行中であることも明らかになっています。

### 戦争の準備ではなく、平和のための努力を

しんぶん赤旗によれば、「真っ先に建設が狙

われる大分分屯地の周辺には1万世帯以上の住宅密集地が存在する」、この地で米軍演習に反対する大分県各界連絡会は、県に建設中止を要請、「ひとたび戦争が始まってしまうと、どんな武器があっても命は守れません。そして戦争を終わらせることも簡単ではありません。大切なことは、戦争の準備ではなく、平和のために努力することです」と訴えています。

**基地の町、土浦には多くの戦争被害の傷跡が残されています。この地での戦争準備、そのための軍事予算倍増、増税のたくらみを阻止するためお互いに力を合わせましょう。**

### 大軍拡・増税に反対する 請願署名にご協力ください

- 平和、いのち、くらしを壊し、国民に負担を押し付ける大軍拡・増税はやめてください。
- 大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改訂を撤回してください。



こちらから署名用紙にアクセス

憲法共同センターなど発行のパンフレット、岸田大軍拡の危険性がよくわかります。希望者はお声かけください。

### ご案内

第2回

### 「地域医療を考える学習講演会」

講師 **鈴木 祥司**先生

独立行政法人国立病院機構 霞ヶ浦医療センター院長

演題：霞ヶ浦医療センターが地域で果たしている役割・今後の新型コロナウイルス感染症との向き合い方

日時：7月22日(土)

開会13:30～15:30

会場：7-ケル土浦 2F 会議室



参加は無料

定員80名（事前の申し込みを）

TEL：029-227-0463 FAX:029-228-3439

主催：地域医療を考える住民ネット

【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を促しましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」（毎月5、15、25日発行）：月額593円(送料含)

